

# 乙女 文楽

結成五十周年  
記念公演

おとめぶんらく

指導 ■ 故 桐竹智恵子

■ 桐竹勘十郎

出演 ■ ひとみ座乙女文楽  
演奏 ■ 「奥州安達原」

前 竹本土佐子  
鶴澤津賀花  
後 竹本越孝  
鶴澤寛也



演目

「二人三番叟」  
「奥州安達原」 袖萩祭文の段

主催：(公財)現代人形劇センター  
後援：(公財)日本伝統文化振興財団  
(公財)ボニー伝統文化振興財団  
NPO法人日本ウニマ(国際人形劇連盟日本センター)  
助成：(公財)朝日新聞文化財団  
協力：国立文楽劇場 NPO法人人形浄瑠璃文楽座 日本人形劇人協会  
企画制作：(公財)現代人形劇センター 池袋演劇祭特別参加作品

### ■お申し込み

- チケットぴあ URL <http://pia.jp> TEL 0570-02-9999 (Pコード 488212)
- イープラス [eplus.jp](http://eplus.jp)
- 東京芸術劇場ボックスオフィス  
TEL 0570-010-296 (休館日を除く10:00～19:00)  
URL (PC) <http://www.geigeki.jp/l/> (携帯) <http://www.geigeki.jp/i/v/>
- (公財)現代人形劇センター  
TEL 044-777-2228 E-mail [ticket@puppet.or.jp](mailto:ticket@puppet.or.jp)

### ■お問い合わせ (公財) 現代人形劇センター

TEL 044-777-2228 FAX 044-777-3570  
E-mail [asia@puppet.or.jp](mailto:asia@puppet.or.jp) URL [www.puppet.or.jp](http://www.puppet.or.jp)

2018年 9月23日 日・9月24日 月・祝 [23日] 14:00 / 18:30  
[24日] 14:00 (開場は開演の30分前)

自由席 ■ 料金：前売 一般 4000円  
学生 3500円 (当日は各500円増)

東京芸術劇場 シアターウエスト

■ 演目紹介

「二人三番叟」

にんさんばそう

「三番叟」は祝儀の儀礼曲で、古くから各地の人形芝居や神楽、能、歌舞伎などの伝統芸能で重要な演目として扱われてきた。近世に多くのバリエーションが生まれたが、ここでは性格の異なる二人の三番叟が登場する。



photo 熊谷香織

■ 配役  
松島麗・高橋ちひろ

乙女文楽とは？

「文楽」はユネスコの「無形文化遺産」にも登録された日本を代表する伝統人形芝居。1体の人形を3人で操ること、感情やしぐさを繊細に表現します。それに対し「乙女文楽」は、1人の人形遣いによって演じられます。昭和初期に文楽の人形遣い五世桐竹門造らによって誕生し、1人で遣うために、人形の仕組みと操り方にさまざまな工夫がなされています。女性ばかりで演じられる華やかな舞台もみどころです。

■ 配役

- 【袖萩】 木俣かおり
- 【平儀仗直方】 松本幸子
- 【返夕】 山下潤子
- 【安倍貞任】 蓬田雅代
- 【安倍宗任】 小林加弥子
- 【源義家】 魚野直美
- 【お君】 鈴木文
- 【腰元】 前島千尋
- 【仕丁】 安藤麻衣
- 女部田麻緒



「奥州安達原」袖萩祭文の段

おうしゅうあだちがはら そではぎさいもん

平安の世、時の帝の弟宮が何者かに誘拐され、宮の守護役である平儀仗は、責任を問われ窮地に陥っていた。事件の背後には、先頃朝廷に滅ぼされた奥州の豪族、安倍一族の再起をかけた陰謀が見え隠れする。

主を失った宮の御殿で、儀仗が切腹を迫られているところへ、娘の袖萩が訪ねてきた。かつて浪人者と恋に落ちて勘当され、いまは夫にも離れ盲目の上、物乞い同然の女芸人となり果てている。偶然父の窮状を耳にして、幼い娘を連れて駆け付けつけたのだ。しかし謹厳な父はけつして娘を許そうとしない。その上袖萩がみせた書状から、その夫こそ安倍一族の棟梁で宮誘拐の首謀者、安倍貞任と知れる。儀仗はもはやこれまでと切腹。盲目の袖萩も、図らずも父と敵対する身の上を悟り、時を同じくして刃を自らに突き立てた。

そこへ現れたのは、宮中からの使者桂中納言則氏。儀仗と袖萩の姿を冷やかに見降ろすのだが、実はこの男こそ安倍貞任だった。奥州安倍氏の反乱を雄大な構想のうちにサスペンス仕立てで描く、時代浄瑠璃の傑作。



photo 古屋均

ひとみ座乙女文楽

創始者桐竹門造の直弟子である故・桐竹智恵子に1967年から教えを受け、翌68年に初公演。今年で結成50年を迎えます。この間、国内はもとより世界各地で公演し、近年は子ども向けの教室の開催など地域に根ざした活動にも力をいれています。また智恵子師亡き後は2010年より文楽の桐竹

勤十郎師に指導をおおいでいます。メンバーは人形劇団ひとみ座の女性演技者です。今回は五十周年を記念し、総力をあげて時代浄瑠璃の大作「奥州安達原」袖萩祭文の段に挑戦しました。また「二人三番叟」は若手演者によりお届けします。

## 東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1  
TEL: 03-5391-2111

＜アクセス＞ JR、東武池袋線池袋駅西口より徒歩2分。池袋駅地下通路の2b出口で直結しています。